

東北の新幹線各駅を紹介します！



去る10月7日から9日まで「新幹線建設促進等に関する調査特別委員会」における東北新幹線先進地視察が行われ、行政側も同行し、既に開業している東北新幹線駅やまちづくりについて視察&勉強してきました。いろいろな駅の様子をお伝えしますので、将来の「おしゃまんべ駅」と重ねてイメージしてみてください。(現長万部駅の在来線山側にご紹介するような大きな新幹線ホームができる予定です)

今回、ご紹介するのは、南から「盛岡駅」・「三戸駅」・「八戸駅」・「七戸十和田駅」になります。

■新幹線に関するお問い合わせやアイデア・ご意見は「おしゃまんべ」
 ◆メールアドレス: ts.k@town.oshamambe.jp
 ☎212450 FAX214884



盛岡駅（新幹線ホーム）の様子



八戸駅（新幹線ホーム）の様子



盛岡駅に停車中の東北新幹線「はやぶさ号」
北海道新幹線H5系と同じタイプです

盛岡市や八戸市の駅のホームの形式は「2面4線」といって、「2面」2つのホーム「4線」4つの線路を意味しており、速達便の新幹線(停車駅が少ないタイプ)と各駅停車の新幹線の相互乗り継ぎができるよう4つの線路がある規模の大きな駅です。



新幹線長万部駅は、人口約30万人の盛岡駅や人口約24万人の八戸駅と同じ「2面4線」の大きな駅となる予定です。それは、室蘭本線との接続の関係で、洞爺湖温泉や登別温泉など、胆振方面からの多くの人の利用も見込む「広域の駅」と想定されているためです。

新幹線車両(H5系)函館上陸！

去る10月13日(月)、北海道新幹線車両(H5系)2両がついに函館港に到着しました。それにあわせて「歓迎セレモニー」も行われ、関係自治体の長として木幡町長も出席しました。緑と白を基調とした新幹線車両の優美な姿に、函館港に集まった多くの方は、感激の声を上げ、北の大地を疾走する姿を思い描いていました。

今後の予定は、11月1日に木古内駅構内で「レールの締結式」(新函館まですべてのレールがつながります)のあと、12月からは、試験走行が行われ、実際に車両が北海道の大地を走行することになります。



人口約1.7万人の七戸十和田駅の様子

新たにできた駅なので、駅前は大規模な区画整理事業が行われています。
 ※人口規模が少ない点で参考になります！



人口約3万人の二戸駅に併設されている
広域観光物産センターの様子

北東北24市町村の特産品がそろっています。
 ※広域観光という点で参考になります！



函館港に入港した北海道新幹線(H5系)左は函館山です。



木幡町長(左から3人目)や「どこでもユキちゃん」も出席

